

# 厚別東まちづくりセンター だより

創刊号 1

2005年1月発行 厚別東まちづくりセンター（厚別東4条4丁目9 3 897 - 2885）



新年明けましておめでとうございます。

昨年4月に「連絡所」から「まちづくりセンター」へと名称が変わりまして、今年は、具体的にまちづくり活動を実感できる一年にしたいと考えていますので、本年もよろしくお願いいたします。

また、「まちづくりセンター」の活動を広く知っていただくとともに、地域の情報や行事、ご意見を紹介していくために、今年から「厚別東まちづくりセンターだより」を発行しますので、併せてお願いいたします。



（連絡員 佐藤）（所長 津田）（連絡員 西條）



（国道12号から見た厚別東まちづくりセンター）

## これからの主な予定 “演芸大会”

厚別東地区の大イベント「演芸大会」が、2月13日（日）の午前10時から午後3時まで小野幌会館で盛大に開催されます。是非、皆様ご覧ください。



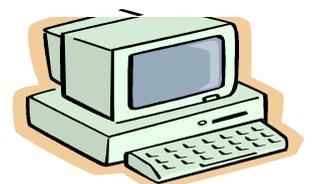
昨年の町連女性部の「ひょっこりひょうたん島」



小野幌ニュータウンの「大江戸一番まとい」

## パソコン何でも相談室

- パソコン操作で分からないことがあれば、ご相談ください。  
2月は3, 17日と3月は3, 17日の午後1時～3時に  
ふれあいサロン（小野幌会館内）で開催します。【裏面に続きます】



## 厚別東地区の特徴

最新の統計(16年4月)から厚別東地区の特徴を分析してみました。

- 少子・高齢化：65歳以上の高齢者は12.9%(全市16.2%)、平均年齢40.5歳(全市41.6歳)と市全体と比較すると現在の東地区は「若いまち」です。

ただし、「団塊の世代」を含む50～64歳の年代が全体の25%を占めており、今後、超高齢化社会に突入するとともに、少子化の進行も予想されます。

- 交通事故：東地区の特徴として、新札幌駅まで自転車に乗る人が多いためか、他地区と比較すると自転車での事故が圧倒的に多いです。

|        |                |              |         |
|--------|----------------|--------------|---------|
| 面積     | 422ha          | 世帯数          | 6,043世帯 |
| 人口     | 15,416人        | 単位町内会数       | 7町内会    |
| 男      | 7,399人(48.0%)  | 町内会加入世帯数     | 4,187世帯 |
| 女      | 8,017人(52.0%)  | 公園の箇所数       | 33箇所    |
| 0～14歳  | 2,133人(13.8%)  | 公園の面積        | 6.1ha   |
| 15～64歳 | 11,295人(73.3%) | 事業所数(13年10月) | 316箇所   |
| 65歳以上  | 1,988人(12.9%)  | 従業者数(13年10月) | 7,593人  |
| 平均年齢   | 40.5歳          | 交通事故         | 83件     |

## 厚別東まちづくり会議 第1回

「まちづくり会議」とは、町内会や各種団体が交流し、地域全体で住みよいまちにするために、相談したり活動するための場です。

昨年10月26日(火)小野幌会館において、各種団体27団体・50人と区長他6人が出席し、初の開催となる「まちづくり会議」を開催しました。

会議に先立ち、10月1日の各種団体代表者会議で27ある団体を4系統別(福祉厚生、青少年、健康安全、地域一般)にグループ化しています。

会議当日は、4系統別の代表者が「まちづくり会議でとりあげたいテーマ25件を」を発表し意見交換を行いました。が、「高齢者福祉」、「健康づくり」、「除雪」、「子供の教育」等に関心が高い結果となっています。



- 今後のまちづくり会議

今年3月に「福祉厚生グループ」が発表するということが代表者が準備を進めており、従前の各種団体交流会をまちづくり会議と同じ場と位置づけて開催します。

テーマとしては、猛スピードで迫る高齢化と高齢者福祉等を予定しています。

- まちづくり会議とは

平成16年度から、札幌市全体で市内87ある「まちづくりセンター」単位で開催することとなっている、地域課題を考え、解決する場です。全国でも、主に川崎市、神戸市等の大都市で数年前から開催されており、現在も開催自治体が増え続けています。